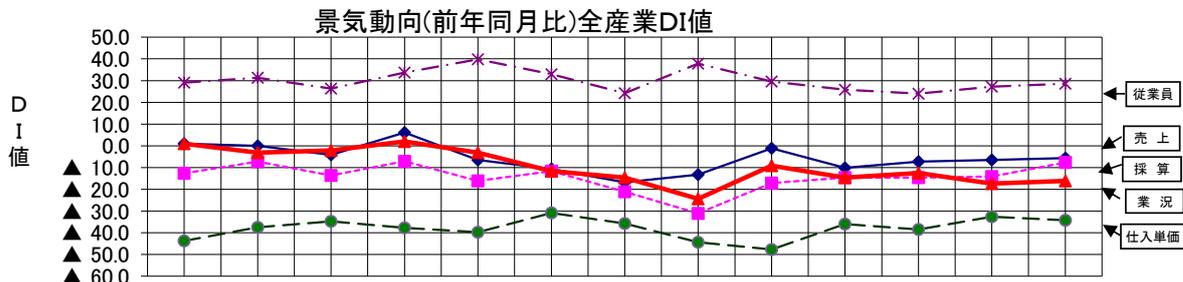


# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 9月分

## 【9月の概要】景況感は下降気味、先行きは消費増税の影響を懸念し厳しい見方が強まる

8月の業況判断に比べると、売上DI、採算DI、業況DI、仕入単価DIともマイナス幅が増加し、従業員DIはプラス幅が減少した。売上、採算とも悪化している中、原材料等の高止まり傾向は続き、各種経費も増加しており、経営環境は厳しい状況となっている。

先行きについては、8月に比べ、売上DI、採算DI、業況DIはマイナス幅が増加し、仕入単価DIはマイナス幅が減少し、従業員DIはプラス幅が減少した。消費増税を控え10月以降の売上に對して、慎重な見通しが強くなっている。



## 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2018年9月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	2019年9月
◆ 売上	1.0	0.0	▲ 4.2	6.1	▲ 6.5	▲ 10.6	▲ 16.8	▲ 13.3	▲ 1.1	▲ 10.1	▲ 7.3	▲ 6.5	▲ 5.7
■ 採算	▲ 12.6	▲ 7.3	▲ 13.7	▲ 7.1	▲ 16.1	▲ 11.7	▲ 21.1	▲ 31.1	▲ 17.1	▲ 14.6	▲ 14.6	▲ 14.1	▲ 7.6
▲ 業況	1.0	▲ 3.1	▲ 2.1	2.0	▲ 3.2	▲ 11.7	▲ 14.7	▲ 24.4	▲ 9.1	▲ 14.6	▲ 12.5	▲ 17.4	▲ 16.2
● 仕入単価	▲ 43.7	▲ 37.5	▲ 34.7	▲ 37.8	▲ 39.8	▲ 30.9	▲ 35.8	▲ 44.4	▲ 47.7	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 32.6	▲ 34.3
* 従業員	29.1	31.3	26.3	33.7	39.8	33.0	24.2	37.8	29.6	25.8	24.0	27.2	28.6

売上DIは3.2ポイント、採算DIは5.3ポイント、業況DIは0.6ポイント、仕入単価DIは1.3ポイント、マイナス幅が広がり悪化を示し、従業員DIは4.8ポイントプラス幅が減少して改善を示した。

## 全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
6月	▲ 3.1	▲ 10.4	▲ 8.3	▲ 35.4	27.1
7月	▲ 4.4	▲ 8.7	▲ 12.0	▲ 39.1	29.4
8月	▲ 1.9	▲ 16.2	▲ 19.1	▲ 37.1	29.5

先行き見通しでは、売上DIが3.1ポイント、採算DIは6.6ポイント、業況DIは3.7ポイントのマイナス、仕入単価DIは5.4ポイントマイナス幅が減少し、従業員DIは0.8ポイントプラス幅が減少した。

## 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	土木工事	年末までの受注は確保しているが、その後の受注量がどの程度あるか未定。
	塗装業	民間工事の受注が好調だが、慢性的な人手不足で人件費・外注費が増加している。
製造業	機械部品	売上が減少傾向にある中、資材価格は上昇しておりコスト増となっている。
	食品	人手不足により、手のかかる商品の生産が十分にできず、売上の上積みができない。
卸売業	日用雑貨	最低賃金の引上げにより、経費負担が増加する。
	機械部品	消費増税に伴う駆け込み需要もなく、増税後の推移が不透明である。
小売業	酒類販売	顧客が減少しているにもかかわらず、消費増税で今後の売上に影響が出てくる。
サービス業	ソフトウェア	9月に入っても軽減税率対応案件の受注が続いている。
	飲食	最低賃金の引上げにより、人件費が上昇するため採算に影響を与える。
	タクシー	夜間の利用者は減少しており、日中だけに人の流れがみられる。